

「美術大学との産学連携事業」
丹後ちりめんを活用したアップサイクル商品
第73回丹後織物求評会で展示します。

令和4年10月11日

京丹後市役所

本市は、SDGs 未来都市計画に基づく事業のひとつとして、「女子美術大学」と産学連携の取り組みを実施しています。織物の生産過程で発生する端材や不良在庫等を活用し、繊維製品の開発及び市場開拓に向けた市内織物事業者と連携した、アート作品やバッグなど11点を制作しました。この度、この制作品を、10月18日～23日に丹後織物工業組合(特設会場)で開催される「第73回丹後織物求評会」で展示しますのでお知らせします。

■第73回丹後織物求評会

日 時 令和4年10月18日(火)～19日(水)*審査会・展示商談会
令和4年10月20日(木)～23日(日)*展示一般公開

場 所 丹後織物工業組合(特設会場)
〒629-2502 京都府京丹後市大宮町河辺3188

出展品 端材や不良在庫を活用したアート作品やバッグ(別紙参照)

制作者 女子美術大学短期大学部造形学科デザインコース2年生11名

■素材協力事業者

織元金重(網野町網野)、谷勝織物工場(網野町掛津)、
田勇機業株式会社(網野町浅茂川)、株式会社二条丸八(大宮町善王寺)、
遊絲舎(網野町下岡) 丹後織物工業組合(大宮町河辺)

■取り組みの経過(令和4年度)

4月 本年度の活動について協議開始
4月下旬 残反・端材類の素材を送付
5月 オンラインでの工場見学
5月下旬 授業報告会(素材の活用イメージやデザイン案)
6月 完成品に向けた取り組み
7月 展示会用パンフレット作成
8月 制作品の完成
9月 合同展示会(ニューエナジー)出展

日 時 令和4年9月8日(木)～11日(日)

場 所 新宿住友ビル三角広場
〒160-0023 東京都新宿区西新宿2-6-1
NEW ENERGY TOKYO(ニューエナジー トウキョウ)
NORTH エリア ブース No. 250

合同展示会では、百貨店様や小物雑貨店様などに興味を持っていただき、制作品展示のお誘いや新たな企画の提案もいただきました。
また、端材そのものに興味を示された事業者様からもお声をかけていただきました。興味を持っていただけた事業者様とは、10月に詳細を打合せする予定です。

■今後の予定

- 10月 10月18日～23日 第73回丹後織物求評会で展示予定
- 11月～ 京丹後市内/都内での作品展示予定
- 2月 学生からの作品報告会、京丹後市内事業者訪問予定

「女子美術大学」

創業300年の歴史を持つ丹後ちりめん。生地全面に細かい凸凹状の「シボ」があることが特徴の絹織物の縮緬（ちりめん）は、「丹後ちりめん」と言われるように、丹後地域の地場産業として発展してきました。京丹後市のそれぞれの機屋（はたや）から聞こえる機の音、「ガチャンガチャン」という音が一定のリズムで糸を織りあげていきます。そんな織物の製織工程において廃棄される端材や余剰生地も見方を変えようと可愛くて愛おしい物ばかり。その布や糸を使い、学生が習得した染織の技術を活かしながらアート作品やサステイナブルな革素材を使った財布/バッグを制作しました。



百貨店や小物雑貨店等複数から問い合わせをいただきました。販売先や販売方法は交渉中です。



個性が光るという意味を込めて、色とりどりの配色を用いて制作されたバッグです。



生み出された生地や糸を愛おしく大切に制作された財布です。

京丹後をイメージして制作した財布です。



生地や糸、和紙を融合させたアート作品で鮮やかな鯉が完成しました。



狛猫に、京丹後市で生産された生地を洋服として着せています。狛猫は蚕の天敵とされているネズミを退治してくれる養蚕の守護神として祀られています。

【問い合わせ先】

京丹後市商工観光部商工振興課

TEL : 0772-69-0440 FAX : 0772-72-2030

E-Mail : shokoshinko@city.kyotango.lg.jp

(参考)

連携大学「女子美術大学（東京都杉並区）」について

平成23年からは丹後織物工業組合を中心とする丹後ファッションウィーク開催委員会と協定を締結し継続的な産学連携事業を実施してきました。

平成29年には都内ギャラリー（六本木アクシス）での展覧会開催、平成30年には大型見本市 rooms 出展と実践的な活動において共同してきています。

産学連携事業のブランド名：「JiUNI」（ジユウニ）

「自由な製品を」という意味を込めて、JiUNI＝ジユウニ としました。

作品の写真や学生たちの活動の様子をお伝えするために、Instagram と Twitter のアカウントを設立しました。

■Instagram アカウント

@jiuni_1212

■Twitter アカウント

@JiUNI2020



@jiuni_1212



@JiUNI2022